

## 《 春のファン感謝祭 》

～ 市民ボランティア「森の仲間たち」のイベント！ ～



### ★森の仲間たちのお店

コーヒーや焼き菓子などの販売！

時 間10:00～14:00(売切れ次第終了)

場 所:ウサモルハウス周辺

### ★ネイチャークラフト

木の実などを使った簡単な工作！

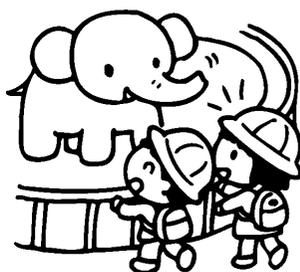
時 間10:00～15:00(無くなり次第終了)

場 所:ウサモルハウス周辺※1個 200円

### ★ゾウ来園40周年記念紙芝居

時 間:10:30～、13:00～、15:00～

場 所:ウサモルハウス横休憩所周辺



### ～お知らせ～

平成15年3月の創刊以来、16年に渡り到津の森公園でのイベント情報・郷土の森や動物たちのお話を毎月1回発行させていただきましました『森のお便り』は、平成31年3月号(通巻193号)をもちまして、休刊いたします。

これまで、ご愛読いただいております皆さま、到津の郷土の森のお話を書いていただいた「花咲くおばさん」、森のなかまとして動物たちのお話を書いていただいた飼育スタッフの皆さん、ありがとうございました。

心より御礼申し上げます。

広報グループ 松浦

詳しくは、HP もしくは到津の森公園(651-1895)まで、お問合わせ下さい。

# 森の仲間たち



「到津の森公園」事務所  
北九州市小倉北区上到津 4-1-8  
Tel 093-651-1895 〒803-0845  
<http://www.itozu-zoo.jp/>

# 森のお便り 3月号 2019年

発行・編集 「到津の森公園」「森の仲間たち」19年3月1日発行 通巻193号

## 春のファン感謝祭 3月24日(日)9:00～17:00

日頃の感謝に込めて…

イベント盛りだくさん！会員様はさらにお得！！

### ●ふだんは聞けない！動物園の裏話

日頃のガイドでは話さないような動物園の裏話を飼育員が行います。

場 所:里のいきもの館レクチャールーム

【対象イベント】

- ・レッサーパンダの赤ちゃんの話 11:00～11:30、14:00～14:30
- ・ゾウのサリーちゃんの治療の話 11:30～12:00、14:30～15:00

### ●いとうづクイズラリー いくつわかるかな？

日 時:3月25日(月)～31日(日)9:00～17:00(各日先着200名様)

シート配布:南北両ゲート

参加賞プレゼント場所:南北両ゲート抽選会場

### ●あゆみあるく展

この1年の動物たちと飼育員の取り組みを紹介

日 時:3月24日(日)～4月21日(日)9:00～17:00

場 所:管理センター2階ロビー

【個人会員様限定特別冊子を配布】※先着200名、おひとり様1冊まで

配布場所:3月24日(日)のみ管理センター2階ロビー、  
3月25日(月)以降は南ゲート



## 将来の動物園

到津の森公園が開園して、すでに17年を迎えました。今から考えると、当時はよちよち歩きの赤ん坊のよう。植栽したばかりの木々はまだまだ弱々しく、今にも倒れそうでした。今ではそれらの木々も元からあった樹木と並び立つほどになっています。動物舎の庭に植えられた植物も同じです。動物が日差しを避けたり、雨を避けたりすることができるほど大きくなった木もあります。来園したお客さまから「動物園？植物園？」と尋ねられるほどです。

動物園が今までのように、数々の動物たちを所狭しと「展示」することは、動物の望むことだったのでしょうか。それは私たちの単なる我儘であったかも知れません。動物にはそれぞれの個性と生きてきた証があります。私たちが動物を「見たい」からではなくて動物の生活を「知りたい」に変わるのはいつの事なのでしょうか。個性と生きてきた証を再現すること、それが「福祉」です。私たちは動物を愛して、可愛く思って飼って来ましたが、それが動物のためにならなかったこともあります。ブドウの好きなレッサーパンダにブドウを過食させたために（飼育員はレッサーパンダが可愛かったのです）脂肪過多で死なせることだってあります。もちろん愛情は必要ではありますが、動物の「福祉」とは愛情をふんだんに注ぐこととは違います。科学的思考の方がもっと重要なのです。それは、その動物が野生下でどのような生活をしているかを知ることです。野生下の生活をそのまま再現することは無理だとしても、それに近づけることは重要です。そうすれば、レッサーパンダに大量のブドウを餌として与えることもなくなるはずですよ。

これからの動物園、近い将来の動物園は、そのような動物の生態をベースとした生活環境を提供した施設です。たぶん、そのような施設では多くの種類を飼うこともできなくなるかも知れません（動物園という名称は必要ないかも）。が、今までより多くの動物についての情報がそこから得られるはずですよ。

飼育される動物の生活の質を上げることで、見に来られた方の生活の質を上げるというのが将来の動物園に期待されることではないでしょうか。

到津の森公園 園長 岩野 俊郎

## 森のなかま・キリン

キリンがおじいちゃん・おばあちゃんに

先日、2月8日にキリンの「いと」が無事に男の子を出産しました。

「いと」は「マリア」と「トーマ」の2番目のこどもで、2013年に到津の森公園で生まれました。2015年に九十九島動植物園森きららへお嫁に行きましたが、雄の「ハヤト」とも仲が良く担当者一同、首を長くして赤ちゃんが産まれることを楽しみにしていたところ、この度、吉報が届きました。

マイペースで人懐っこい「いと」がお嫁に行ったのがつい先日のように思えます。時が経つのは、あっという間ですね。

これで、「トーマ」もおじいちゃん。「マリア」もおばあちゃんになりました。しかし、まだまだ「ミモ」の子育ても頑張っています。

国内のキリンの数も年々減ってきているので、これからも「いと」をはじめ、「トーマ」・「マリア」も沢山の子供たちを産めるように、また、健康で長生きできるように、向き合っていきます。

園内では例年より早く「ミモ」の名前の由来の「ミモザ」も開花して可愛らしい黄色い花を咲かせています。

もうすぐ、2歳になる「ミモ」。どんどん大きくたくましく育っていますので、「ミモ」の今後の成長も楽しみにして下さい。



飼育展示係 宮崎 和宏